

2012年度 インターゼミ 地域＜震災＞班

「道の駅」
台湾導入戦略プロジェクト

梅田裕介 古西政樹 角野匡子
武田一斎 川合紀子

①今回の研究目的

本年2月の東北「道の駅」の研究(久恒ゼミ)を経て、震災後の復興が目覚しい宮城県仙台を足がかりに、同じく震災に揺れた台湾にビジネスモデルとしての「道の駅」を導入するプロジェクトを立ち上げたい。

●震災復興途上の日本だから、

今こそ提言する「道の駅」導入

●中国攻略の布石として、台湾で成功事例を作りたい

この対台湾戦略をもとに中国 タイ フィリピン などにグローバルな展開を構築

②「道の駅」とは？

仕組みの現状分析と震災時機能

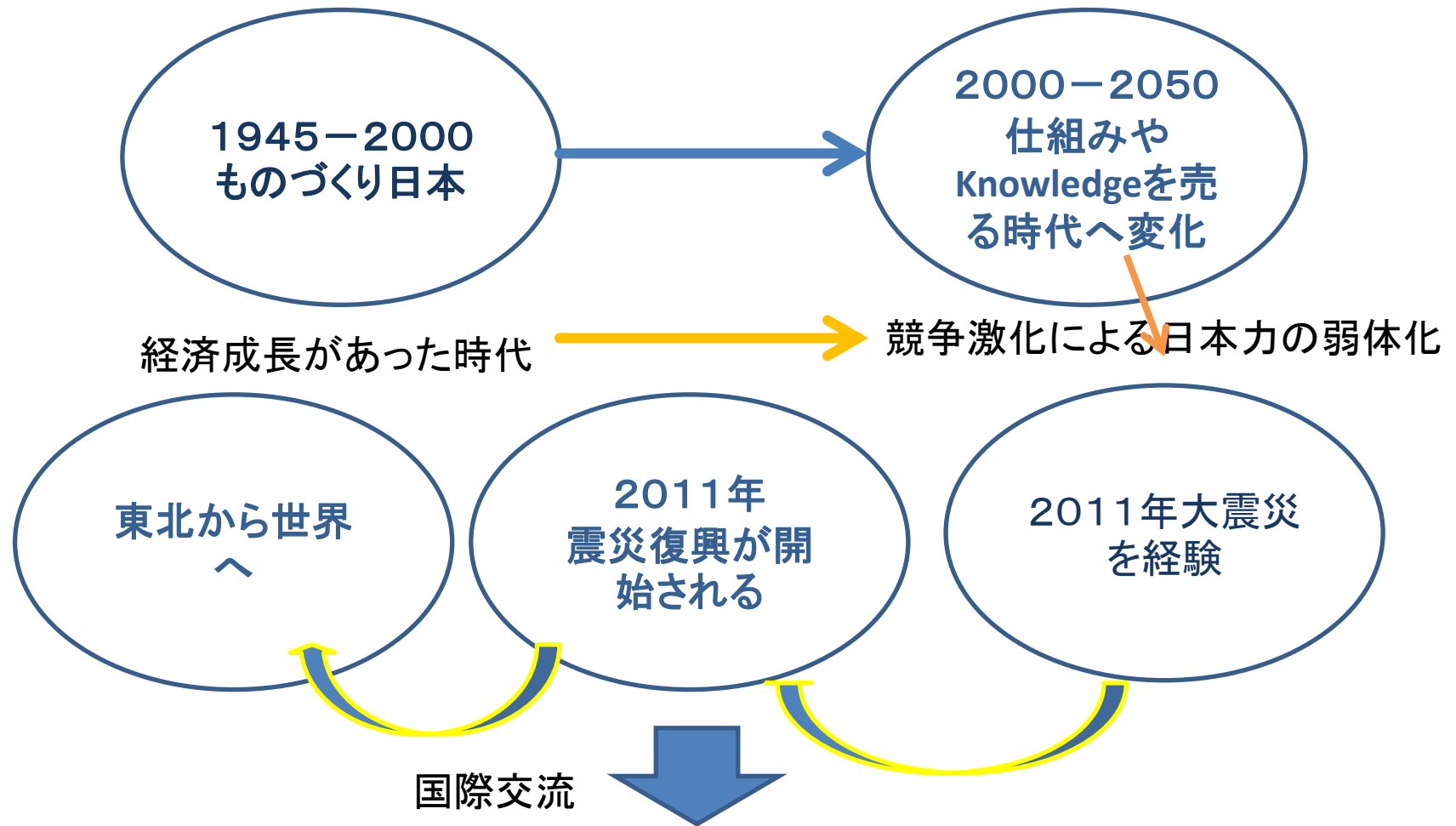


震災時の「道の駅」

- 休憩所
- 救助拠点
- 情報提供
- 支援拠点
- 地域交流拠点



なぜ「道の駅」の仕組みを売り込むのか？



震災時に大きく機能した「道の駅」システムを交流のある台湾にも導入

③-1 なぜ台湾なのか？



台湾新幹線開業までの経緯
耐震性への信頼が強固
→道の駅にも通じるものがあるのでは

1997年競争入札では、独・仏の欧州勢と組んだ台湾高鉄が激しい戦いに競り勝った。
(背景には、台湾高鉄が政府の財政支出を一切不要とする条件を提示、台湾政府には兵器の重要供与先であるフランスとの関係を強化する狙いもあった。)

1998年にドイツの高速鉄道ICEが約100人の死者を出す脱線事故を起こす

1999年に台湾中部大地震が発生。営業運転開始以降、1人の死亡事故も起こしていない日本の新幹線への再評価機運が一挙に高まった。

台湾高鉄は政府の指導の下、耐震性に優れる上に、地形や天候が台湾と近い日本の新幹線の導入に方針転換。これに欧州勢が大反発、「車両は日本、システムは欧州」という和洋折衷案の採用を迫られることになった。これが事業運営に深刻な禍根を残し、開業時期が1年以上も遅れるという事態を招くことになる

欧州が競り勝つ→事故・地震の発生→死者のない日本車両の導入

日本が持つ震災への強さと安全性が台湾で生かされた先行事例

③-2 なぜ台湾なのか？ 台湾の現状とリサーチ

●日台の関係性



●時代背景・伝統行事と民族性 → 台南導入モデル演出
施設展開コンセプトに

④-1 誰に売るのが？ ターゲット・リサーチ

「台南七夕交流フェア in 仙台」が開催されました！（8/6～8）

8月6日（金）～8日（日）の3日間、仙台七夕まつりにあわせて「台南七夕交流フェアin仙台」が開催されました。このフェアのために台湾・台南市から仙台を訪問した一行はなんと209名！ そのうち約150名が小・中・高校生の芸術団でした。去年の七夕まつりにあわせて来仙する予定でしたがSARSの影響で中止になったため、2年越しの訪問に台南市のみなさんは元気いっぱいでした。



2011年 台南七夕カーニバル

音楽会、パレード、文化旅などの豊富な活動を催される。

2011年8月6日
台南市長、仙台市長を表敬訪問



2010年 仙台七夕祭り

7種の七夕飾りが飾られ、お祭りが催される。

④-2 誰に売るのが？ ターゲット・リサーチ

● 台南の特徴とニーズ

● 台南の震災の歴史

■ 台南の市場規模予測

■ 台南幹線道路の流量予測

■ 台南の交通行政の課題と将来ビジョン



台湾省の南西部に位置し、温暖な気候で人口約187万人の台湾第4の大都市。台湾で一早く開発された商業中心の歴史的旧跡の豊富な文化町。2007年開業の高速鉄道（新幹線）で台北から日帰り観光も可能に。

◆ 台南の震災

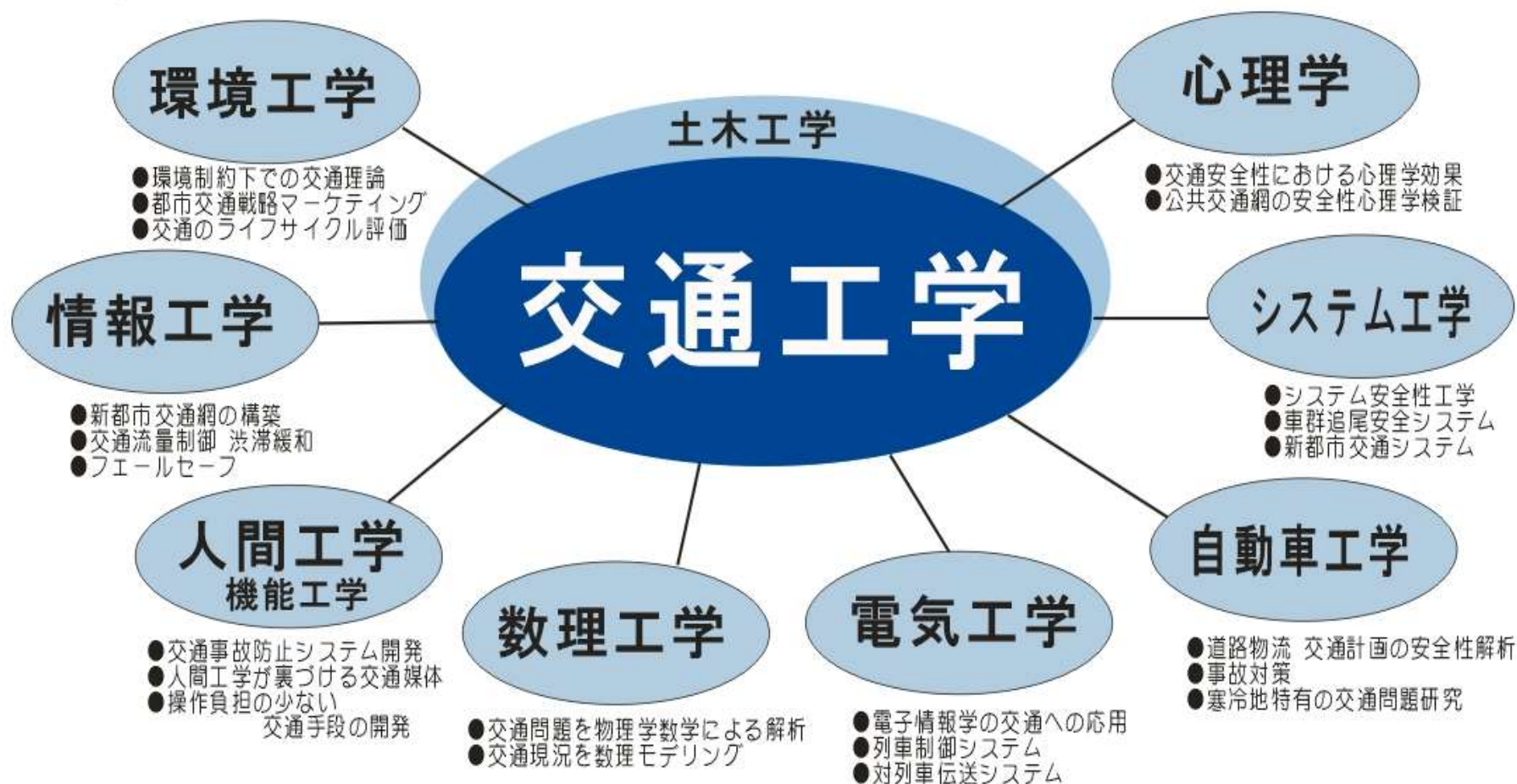
台湾（台南）の20世紀最大の地震は「921大地震」。1999年9月21日、台湾中部にM7.6の大地震が発生。死傷者数約13400名。日本の救援隊が震災当日の夜真っ先に到着



1階が押し潰された集集武昌宮

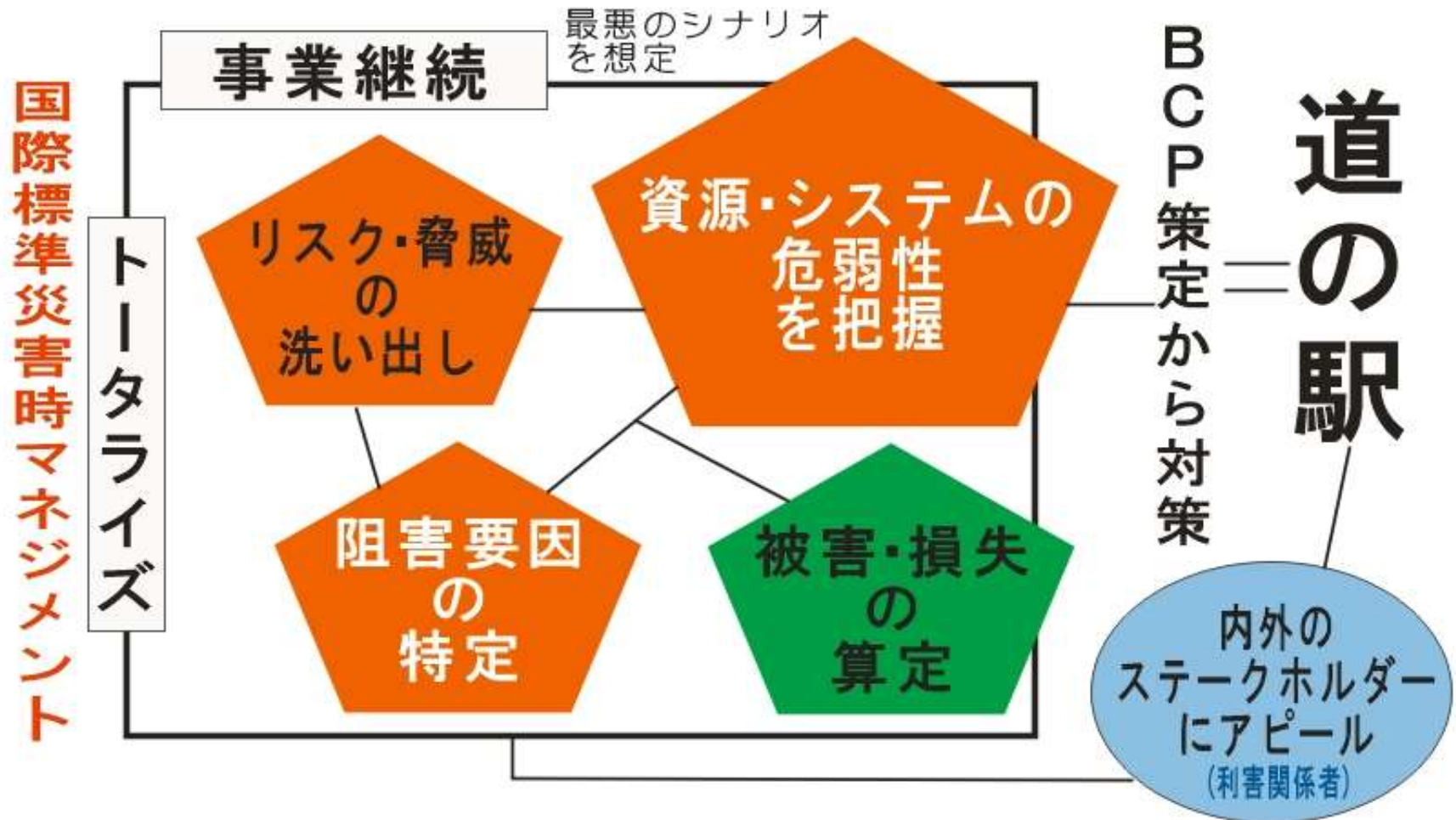
⑤-1「道の駅」構想 必要性の提唱

■各分野が支える交通工学の広がり

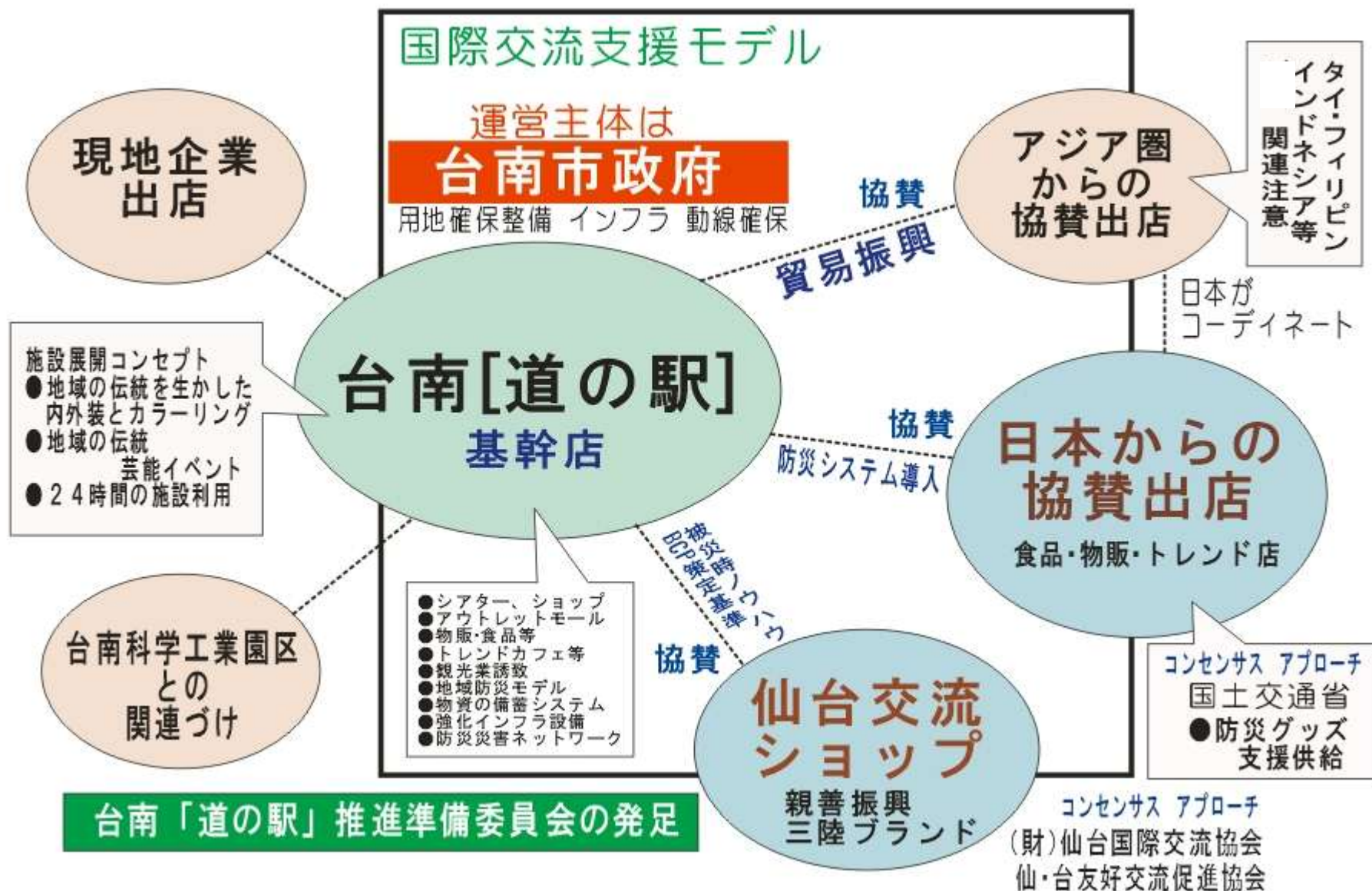


⑤-2 台南縣政府のBCM戦略としての「道の駅」

■ 台南縣政府のBCM強化フロー



⑤-3 台南への導入モデルの検証



⑤-6 導入実践の基礎づくり構想

- 仙台市 ○仙台国際交流協会
- 仙/台友好交流促進協会
- 宮城県 ○国土交通省 ○日本の支援企業
- 多摩大学社会工学研究会
- 台南縣政府 ○台南大学
- 国立交通大学防災管理センター
- 国立成功大学管理学院交通管理学
- 台南科学工業園區

⑥-1

イノベーション

定義:イノベーション (innovation) とは、物事の「新機軸」「新しい切り口」「新しい捉え方」「新しい活用法」(を創造する行為)のこと。一般には新しい技術の発明と誤解されているが、それだけでなく新しいアイデアから社会的意義のある新たな価値を創造し、社会的に大きな変化をもたらす自発的な人・組織・社会の幅広い変革を意味する。つまり、それまでのモノ、仕組みなどに対して、全く新しい技術や考え方を取り入れて新たな価値を生み出し、社会的に大きな変化を起こすことを指す。

道の駅 × ?

= 新しい価値

⑥-2

イノベーション

通常時

道の駅 × 日本、台湾文化
= ワクワク[✨]、ドキドキ[💛]

例: 漫画喫茶、イベント会場

災害発生時

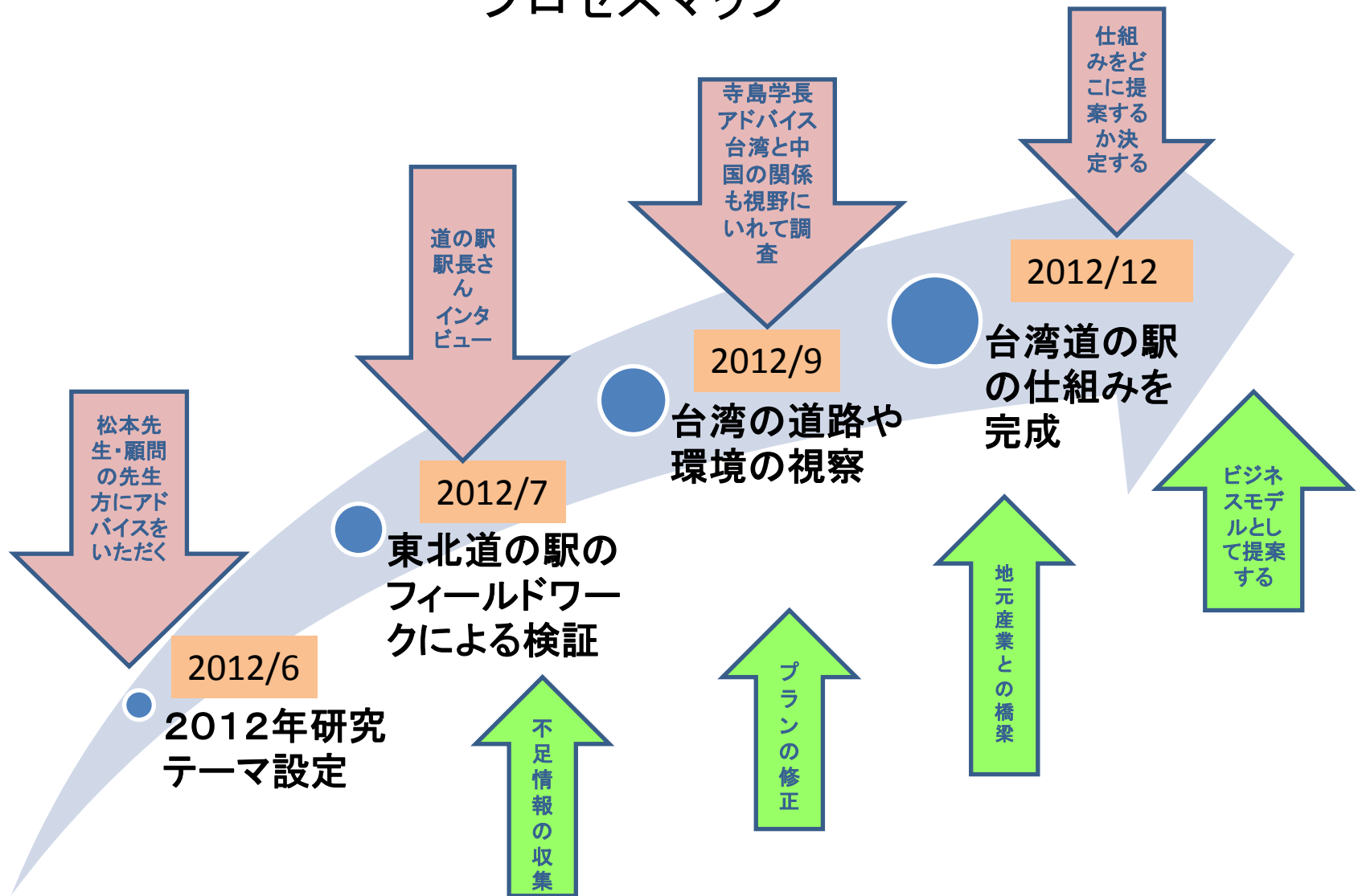
道の駅

× 電気自動車 = 電気ステーション

× 医療船構想 = 医療施設

物流拠点 × 情報拠点 × 電源 × 医療設備
= 一大災害拠点

「道の駅」台湾導入戦略プロジェクト プロセスマップ



フィールドワーク予定

- 7月 文献調査

フィールドワーク①宮城県
道の駅調査

- 8月 フィールドワーク②福島県
道の駅調査

- 9月 フィールドワーク③台南(台湾)

宮城県の『道の駅』



宮城県の「道の駅」

- ①七ヶ宿 ②津山 ③三本木
④路田里はなやま ⑤大谷海岸
⑥おおさと ⑦米山
⑧あ・ら・伊達な道の駅
⑨ 林林館 ⑩上品の郷
⑪みなみかた ⑫村田

<http://www.thr.mlit.go.jp/road/koutsu/roadstation/miyagi/miyagi.html>



◆参考文献

- ・台湾の歴史と日台関係（浅野和生 早稲田出版）
- ・大丈夫か、日台関係（内田勝久 産経新聞出版）
- ・台湾に生きている「日本」（片倉佳史 祥伝社）
- ・日台関係史 1945 - 2008 （東京大学出版会）



ご清聴ありがとうございました！

